



妊婦歯科健診事業が 始まりました

4月1日から妊婦の歯科健診事業が始まりました。

対象 妊婦

内容 登録歯科医院で妊娠中に歯科健診（1人1回）を受ける費用を助成します。

利用方法 対象となる人には、妊娠届出時に受診票を交付します。（すでに妊娠届出がお済みの人には受診票を郵送します。）

風しん抗体検査・ 予防接種クーポン券

対象者へ送付しました、風しん第5期抗体検査・予防接種クーポン券（無料）の有効期限は、令和4年3月31日です。

これから生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るため、ぜひ、この機会に抗体検査を受け、抗体価が低い場合は予防接種を受けましょう。

対象 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

検査・接種期限 令和4年3月31日（木）

※クーポン券の有効期限が2020年3月31日と表示されていても使えます。

検査・接種場所 受託医療機関については、「風しんの追加的対策（厚生労働省サイト）」をご覧ください。

検査・接種方法 医療機関に予約の上、クーポン券を持参してください。

※住所変更、紛失された場合は各保健センターで再発行手続をしてください。

料金 無料（クーポン券使用の場合）

コラム③

シニアの歯科



お口の健康についてのコラムは今月号で終わりです

▶誤嚥性肺炎を知っていますか

誤嚥性肺炎とは、食べ物や唾液が食道ではなく気管に入り（誤嚥）、それが原因となって引き起こされる肺炎です。要介護高齢者における死因第1位の肺炎で、そのうちの多くがこの誤嚥性肺炎です。飲み込みが難しい場合、食事の姿勢を調整し、一口量は少なく、汁ものにはトロミをつけます。またお口の中が不潔だと細菌が多くなり、肺炎のリスクが上がりますので清潔に保つようにします。お口の状態は、いろいろな全身の病気にも影響してきます。

▶年齢によるお口の中の変化

年齢が上がってくると、歯の根が露出して歯と歯の隙間が大きくなったり、唾液が少なくなったりとお口の機能や環境が変化します。唾液が少なくなるとむし歯菌や歯周病菌も停滞しやすくなります。お口のトラブルも起こりやすいため、毎日の家庭でのケアとかかりつけ歯科医院でのメンテナンスの両方が重要です。

▶お口の中のがんや病気について

お口の中にできるがん、口腔がんは生活に影響を及ぼす深刻な病気です。口腔がんは早期発見、早期治療をすると5年生存率は90%以上といわれています。ただ小さい口腔がんは痛みも少なく、口内炎など他の疾患と似ていて早期発見が難しいため早期発見率は低いのが現状です。自覚症状として口内炎

が2週間以上続く、口の中の傷が治らない、唇や舌のしびれ、味を感じない、舌や口を動かすににくいなどがあります。お口の中の病気は自分で見やすく自己判断しがちですが、気になることがあればかかりつけ歯科医に相談しましょう。むし歯、歯周病は自然には治りません。他にも多くの病気があります。

▶お口の健康は全身の健康の秘訣

お口は楽しくおしゃべりをしたり、美味しいものを食べたり、命の入り口といえる大切な場所です。お口の中を清潔にする、そして定期的にかかりつけ歯科医院でチェックする。この2つが健康寿命を伸ばす秘訣です。

▶みどり市の歯周病検診を活用してください

対象は20歳から5年ごとに70歳まで、6月～10月に登録歯科医院で無料で受けられます。

3回にわたって、お口の健康についてお話してきました。お口の健康は全身の健康につながります。よくかんで味わう喜びを一生感じましょう。

コラムを書いた 先生の紹介

松本歯科医院 院長

松本 堅志郎先生

